尼崎西宮芦屋港 長期構想　概要版

阪神港を繋ぐ大阪湾の要所（かなめ）
～大阪湾の KEY・PORT ～

構想改訂にあたってのポイント

①目標年次の更新：概ね30年後（2050年頃）
②現行構想策定時からの社会・経済情勢の変化
③尼崎西宮芦屋港の問題点・課題の明確化
④港湾利用者や背後自治体からの要請の変化

●現行の長期構想　2006年（平成18年）策定

現行構想、港湾計画のレビュー

- 現行構想の策定当時に想定された産業・物流需要は低迷したが、**臨海部用地への企業進出や物流施設の集積等、港湾の活性化につながる動き**もある。
- 尼崎港区臨海部への企業進出や物流施設集積を見据えて、**東西方向の臨海部交通ネットワーク強化**を検討。
- 大阪湾港湾の将来の発展や、南海トラフ巨大地震等の災害対応（災害廃棄物の受入等）も見据えて、現行構想で位置付けられた西宮防波堤沖**「留保ゾーン」は引き続き確保**。

直近に策定された上位・関連計画

＜国の政策＞
港湾の中長期政策（PORT2030）（H30年7月）
大阪湾港湾の基本構想フォローアップ（R1年8月）
＜県・背後市の政策＞
兵庫2030年の展望（R1年6月）、尼崎市総合計画2013-2022（H25年3月）、西宮市総合計画（R1年11月）、芦屋市都市計画マスタープラン（H29年3月）

情勢変化を踏まえた尼崎西宮芦屋港の現状

物流産業
- 内貿のばら貨物、完成自動車が太宗貨物
- 阪神港・背後都市圏を支える物流施設の集積
- 阪神臨海部で比較的ゆとりのある用地

生活環境
- 大阪湾内の海辺空間創出、自然再生の進行
- 盛んな海洋性レクリエーション
- スーパーヨット等の受入課題

防災
- 高潮や巨大地震等の自然災害リスクの高まり
- 施設の維持・修繕

港湾ユーザー、地元関係者の主なニーズ

- ばら貨物および完成自動車の物流機能の強化（岸壁施設の整備、貨物保管用地の確保等）が必要
- 東海岸町地区周辺の混雑解消、東西アクセスの改善など、物流の円滑化
- 高潮や津波に対する浸水対策
- はしけ・バンプールの活用、RORO船活用によるモーダルシフトの促進　等

第1回検討会（2020年2月17日開催）での主なご意見

- 国際戦略港湾「阪神港」との一体的発展に向けた、**阪神圏・大阪湾の中での役割や位置づけの明確化**
- コールドチェーンなど**新たな物流需要の高まり**への対応
- モーダルシフト等、**背後地域や産業と連携した役割**の検討
- **地域・市民に開かれた親水空間**としての港湾の再構築
- 高潮や南海トラフ巨大地震等の**自然災害リスク**への対応

関係者への追加ヒアリング

- 各港湾の連携は必要であり、今後も情報共有を図っていく。
- 湾岸線西進部等の工事需要により、取扱量増加の可能性がある。
- 尼崎西宮芦屋港は、スーパーヨット寄港可能マリーナを有し、京都・大阪・瀬戸内海といった観光地に近接するため潜在能力が高い。

新たな長期構想における目標・基本的方向性・戦略（案）

目標	基本的方向性	戦略
ものの交流拠点化	産業活動を支援する質の高いみなとづくり【産業】	用地の確保と企業誘致
	新たな物流機能の集積を促し、阪神エリアの一体的な発展に貢献するみなとづくり【物流】	物流動向を見据えた様々な貨物への対応
		内貿バルク貨物の拠点化
		道路ネットワークの充実
ひとの交流拠点化	ひとと自然が共存する身近でにぎわいあふれるみなとづくり【生活環境】	既存の良好な海浜や公園・緑地等の機能向上
		マリーナ等の集客施設の強化
	次世代に引き継ぐ自然ゆたかなみなとづくり【自然環境】	大阪湾再生を先導するゆたかな自然環境の創出
もの、ひとの交流を支える安心・安全の拠点化	災害に強く安全で安心なみなとづくり【防災】	南海トラフ巨大地震や高潮に備えるハード・ソフト対策の推進
		大規模災害で発生する災害廃棄物等の広域的な対応を見据えた埋立空間の検討

尼崎西宮芦屋港 長期構想　概要版

阪神港を繋ぐ大阪湾の要所（かなめ）
～大阪湾の KEY・PORT ～

基本理念

背後地からの要請に加え、神戸港及び大阪港を補完・連携すること、既存施設の活用、フェニックス事業用地への新たな産業（高付加価値化につながる産業）の誘致による、背後地の産業の活性化に貢献する港づくりに努める。

生活環境エリア

■ ひとと自然が共存する身近でにぎわいあふれるみなとづくり

【戦略】
- ➢ 既存の良好な海浜や公園・緑地等の機能向上
- ➢ マリーナ等の集客施設の強化

親水・海洋レクリエーションスポット

- ■ 海浜の再生（西宮浜、甲子園浜 等）
- ■ 海洋レクリエーション（マリンスポーツ、クルージング等）の発展に向けた環境充実化

産業エリア

■ 産業活動を支援する質の高いみなとづくり

【戦略】
- ➢ 用地の確保と企業誘致

物流エリア

■ 新たな物流機能の集積を促し、阪神エリアの一体的な発展に貢献するみなとづくり

【戦略】
- ➢ 物流動向を見据えた様々な貨物への対応
- ➢ 内貿バルク貨物の拠点化
- ➢ 道路ネットワークの充実

高付加価値物流スポット

- ■ コールドチェーン等の物流機能の集積
- ■ RORO航路に対応した施設
- ■ はしけ輸送拠点
- ■ バンプール・ストックヤード等、阪神エリアにおける物流リダンダンシー機能
- ■ 東西方向の道路ネットワーク強化

防災 （全域）

■ 災害に強く安全で安心なみなとづくり

【戦略】
- ➢ 南海トラフ巨大地震や高潮に備えるハード・ソフト対策の推進
- ➢ 大規模災害で発生する災害廃棄物等の広域的な対応を見据えた埋立空間の検討

自然環境 （全域）

■ 次世代に引き継ぐ自然ゆたかなみなとづくり

【戦略】
- ➢ 大阪湾再生を先導するゆたかな自然環境の創出

交流拠点ゾーン（芦屋浜、西宮）

【施策】
- □ 海洋性レクリエーションの発展に向けた活動空間・マリーナ等の環境充実（再掲）

みなと全体で取り組むもの

【施策】
- □ 物流拠点の集約・効率化
- □ 港湾利用貨物の陸上アクセス利便性の向上による内陸部との連携強化
- □ 施設老朽化等に対応する戦略的かつ効率的なインフラ・メンテナンスの推進
- □ 親水性緑地や干潟、海浜などの保全・再生・創出
- □ 沖合開発空間の留保

緑地レクリエーションゾーン（浜町・甲子園浜　等）

【施策】
- □ 親水空間の整備と既存親水空間のネットワーク化
- □ 海洋性レクリエーションの発展に向けた活動空間・マリーナ等の環境充実（再掲）

物流関連ゾーン（東海岸町沖・東海岸町・末広、鳴尾、甲子園）

【施策】
- □ 東海岸町沖地区におけるインフラ整備
- □ 用地の有効活用、浚渫土ポケットの確保
- □ コールドチェーン等の物流需要に対応する機能集積
- □ 大阪湾内におけるはしけ輸送拠点化
- □ RORO航路の活用による海上輸送網の充実
- □ 東海岸町沖地区における東西連絡等の交通課題への対応
- □ 砂利・砂や原材料等の一般貨物と自動車関連貨物の取扱い機能の強化